



RACH

Research Association for Community Health

倫理・利益相反に関する規程



一般社団法人コミュニティヘルス研究機構

倫理・利益相反に関する規程

（組織の使命及び社会的責任）

第1条 一般社団法人コミュニティヘルス研究機構（以下、「この法人」と呼ぶ）は、医療・ケアの質の向上及び地域連携の充実に貢献し、国民の健康に寄与することを目的とするというその設立目的に従い、事業運営に当たらなければならない。

（社会的信用の維持）

第2条 この法人は、常に公正かつ誠実に事業運営に当たり、社会的信用の維持・向上に努めなければならない。

（基本的人権の尊重）

第3条 この法人は、すべての人の基本的人権を尊重し、差別や個人の尊厳を傷つける行為はしてはならない。

（法令等の遵守）

第4条 この法人は、関連法令及びこの法人の定款、倫理・利益相反に関する規程、その他の規程、内規を厳格に遵守し、社会的規範にもとることなく、適正に事業を運営しなければならない。

2 この法人は、宗教団体、政党、特定の公職の候補者、暴力団等に資金が活用されることのないように、細心の注意を払わなければならない。

3 この法人は、反社会的勢力との取引は一切行ってはならない。

4 役職員は、不正若しくは不適切な行為又はそのおそれがある行為を認めた場合には、躊躇することなくコンプライアンス規程に則り対応しなければならない。

（私的利益追求の禁止）

第5条 評議員及び役職員は、その職務や地位を自己又は第三者の私的な利益の追求のために利用することがあってはならない。

2 助成事業等を行うにあたっては、理事、監事、社員、職員その他の事業協力団体の関係者に対し特別の利益を与えてはならない。

（利益相反等の防止及び開示）

第6条 この法人は、利益相反を防止し、役員の職歴及び賞罰について自己申告をさせるとともに、情報公

開規程に基づき公開しなければならない。

- 2 この法人は、社員総会又は理事会の決議に当たっては、当該決議について特別の利害関係を有する社員又は理事を除いて行わなければならない。また、事業を行うにあたり、役職員および社員の関係者に対して特別の利益を与えてはならない。
- 3 この法人は、利益相反防止のため、役職員に対して定期的に利益相反に該当する事項について自己申告させるとともにその内容を確認し、必要な是正措置を講じなければならない。
- 4 研究費や事業費の配分を受ける際には、資金分配団体と当法人との利益相反について理事長または統括責任理事を中心に検討する。
- 5 利益相反の防止のために利益相反委員会をおく。

（特別の利益を与える行為の禁止）

第7条 社員及び役職員は、特定の個人又は団体の利益のみの増大を図る活動を行う者に対し、寄付その他の特別の利益を与える行為を行ってはならない。

（情報開示及び説明責任）

第8条 この法人は、その事業活動に関する透明性を確保するため、その活動状況、運営内容、財務資料等を開示し、社会の理解と信頼の向上に努めなければならない。

（個人情報の保護）

第9条 この法人は、業務上知り得た個人的な情報の保護に万全を期すとともに、個人の権利の尊重にも十分配慮しなければならない。

（連携）

第10条 この法人は、活動に関わる関係者が対等なパートナーであるとの認識の下で連携に努めなければならない。

（研 鑽）

第11条 この法人の役職員は、定款に定める目的を達成するために絶えず自己研鑽に努めなければならない。

（規程遵守の確保）

第12条 この法人は、必要あるときは、社員総会の決議に基づき委員会を設置し、この規程の遵守状況を監督し、その実効性を確保する。

(改 廃)

第13条 この規程の改廃は、社員総会の決議を経て行う。

以上